

# 視覚障害者のパソコン技術 習得のための相互支援事業

～NPO法人障害者情報ネットワーク尼崎～



# NPO法人障害者情報ネットワーク尼崎とは

【設立】 平成15年

【会員数】 15人

【目的】 障害者及び障害者関連作業所・団体に対してコンピュータの活用支援を行うとともに、当該団体等に対しNPO法人等設立・運営の支援に関する事業を行い、障害者の自立支援及び当該団体等の活動の向上を図り、もって障害者福祉の向上に寄与すること。

【事業】

- ・コンピュータ教室開催事業
- ・コンピュータ機器設置訪問支援事業
- ・ホームページ設置・更新支援事業
- ・法人設立に関する支援事業
- ・障害者福祉に関する情報発信事業

# 「視覚障害者のパソコン技術 習得のための相互支援事業」について

- 【内容】
- ・視覚障害者がパソコンを使いこなせるように相互支援を行う
  - ・ボランティアとして、肢体障害者や(株)ベイ・コミュニケーションズが、機器の準備や画面読み取りサポートを行う
- 【日程】 令和元年4月～令和2年2月(第1・第3火曜日)
- 【場所】 尼崎市立身体障害者福祉会館
- 【広報】 尼視協の会報、大庄地区の生涯学習プラザにチラシ配布
- 【対象者】 パソコン習得中及び初心者で相互支援を目指す視覚障害者
- 【参加者数】 延べ327人 ※1回あたり平均16.4人  
(視覚障害者154人、肢体障害者(ボランティア)60人、その他地域住民等113人)



# 「視覚障害者のパソコン技術 習得のための相互支援事業」について

## 【実施目的】

自力でのパソコン習得が困難である視覚障害者が集まり、ボランティアの力を借りて、相互支援によりパソコン力向上を目指す。また、点字パソコンの利便性を高める「点字編集システム7」を購入し、相互研修の中で試用する。

暑中見舞い教室



ボランティアさんに  
点字のてほどき



# 「視覚障害者のパソコン技術 習得のための相互支援事業」について

## 【効果】

- 年賀状やあいさつの手紙などをプリンターで打ち出して知人や親戚へ送付できるようになった。
- 視覚障害者相互に教えあうことで親しくなれ、友誼が深まった。
- 支援ボランティア（肢体障害者3名が常時参加）と広く交流でき、気持ちを通い合った喜びが持てた。
- ソフト「点字編集システム7」の補助金による試験購入によりソフトの有用性が確かめられ、今後の活用に見通しができた。